

月例報告書（6月分）

留学先；ブルゴーニュ大学

氏名：坂口紅葉

六月の日常

六月からまた新しいセメスターが始まりました。私にとって最後のセメスターです。この夏のセメスターは今までの冬と春と少し違って、一か月ごとに先生とクラスのメンバーが少し変わります。六月の授業では、最初にやった筆記のテストとリスニングのテストが難しくついて行けるか心配だったのですが、月末にやったテストではいい点が取れて先生がほめてくれたので良かったです。成長を感じることができました。最後の週にはちょっとした遠足のようなものがあり、クラスみんなと街にお出かけしました。クイズが用意されていて、街を周りながら解きました。ディジョンのことをもっと知ることができていい経験になりました。最後の日には、みんなでボードゲームを持ち寄って遊びました。

フランス語でゲームをするのはとても難しいですが、みんなとフランス語をたくさん使ってやるゲームはとても楽しかったです。また、ほかのクラスの子も集まってピクニックをしました。新しい友達もできたので、ほかのクラスとも関わる機会を与えてくれた CIEF に感謝しています。七月からも新しい生徒が来ると思うので仲良くなれるといいです。授業にもついて行けるように頑張りたいと思います。



今月はフランスの映画館に初めて行ってみました。今までもずっと行ってみたかったのですが、フランス語力が心配でなかなか一歩踏み出せずにいました。友達が誘ってくれたことをきっかけに、初めてフランス映画を字幕なしで見ました。とても難しくところどころ理解できないところはありませんでしたがある程度話を理解することができたので良かったです。そこから映画にはまり今月は三回も見に行きました。ディズニー映画の『レミーのおいしいレストラン』のリバイバルがあり、まだ見たことなかったので見に行きました。フランス版では『Ratatouille』（ラタトゥイユ）という名前です。パリのディズニーランドにラタトゥイユのアトラクションがあってそれを先に乗ってしまったのを惜しく思います。映画を見てから行ったほうが楽しめたと思います。また、日本で上映していたハイキューの映画もこちらで見ることができました。フランス人はほんとに日本のアニメを愛してくれていて、スパイファミリーなども上映していました。ハイキューは日本語でフランス語字幕があるスタイルかと思っていたのですが、アニメのキャラクターはみんな流ちょうなフランス語を話していました。スポーツ映画なのであまり支障はありませんでしたが、日本に帰ったらもう一度見たいと思います。

六月のイベント

定期的に開催される、古着の量り売りに今月行って来ました。冬に冬服を買いに行ったときと同じ教会で開催されていました。今回は夏服を買いに行ってきました。半袖をいくつか買ったのですが、今年のフランスは例年に比べて全く暑くないみたいです。本当に毎日過ごしやすく助かっています。寮にはエアコンがないので夏になったら私は生きていけないのではないかと心配していましたが、全く心配いりませんでした。30 度を超える日も数えるくらいしかありません。フランスは6、7月が夏のピークらしいのでこのまま夏が終わるかもしれません。夏が好きなわけではありませんが、来ないとなると少し寂しいです。



フランスは夏至の日に音楽祭を開きます。私の住むディジョンでも大きな音楽祭が開催されました。街の中心地にいくつものステージが設置され、夜真っ暗になるまでみんな盛り上がり続けます。フランスは 22 時を過ぎても明るいのでずっと夕方みたいです。音楽祭ではたくさんの種類の音楽を聞けてとても楽しかったです。ロックバンドがあったり、DJ がいたり、オーケストラもありました。合唱団もいてみんなでシャンゼリゼを歌っている姿はとても魅力的でした。

また六月の最後の週末には、ボーンに住む友達の家遊びに行きました。人生で初めて自転車と電車に乗りました。電車にもよると思いますが、追加料金なしで自転車と一緒に電車に乗ることができるのはありがたいです。ボーンはワインがとても有名で、ブドウ畑がたくさんあります。ボーンで開催されていたマルシェでは、服や骨董品、ボーンの名産品が多く売られていてとても楽しむことができました。友達の家では、バレーボール観戦をしました。バレーボールネーションズリーグの決勝があり、日本対フランスという私にとって一番興味のある組み合わせでした。残念ながらフランスに負けてしまい惜しくも銀メダルでしたが、パリオリンピックでリベンジを果たしてほしいと思っています。

